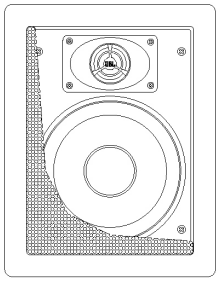
IN-WALL &CEILING LOUDSPEAKERS

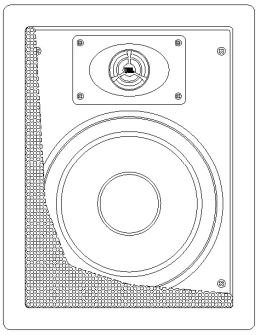
SS Series

取扱説明書

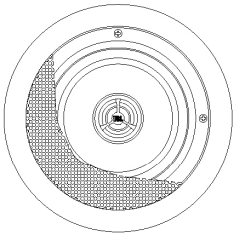
6.5"-2Way In-Wall Speaker
SS6



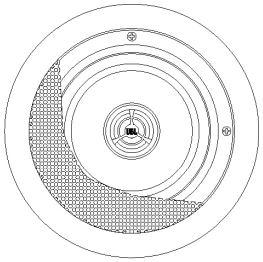
8"-2Way In-Wall Speaker
SS8



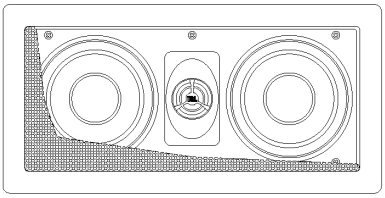
6.5"-2Way In-Ceiling Speaker
SS6C



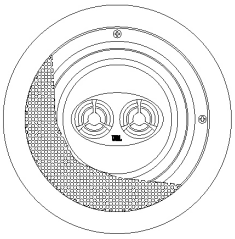
8"-2Way In-Ceiling Speaker
SS8C



2×5"-2Way In-Wall Speaker
SSLCR



6.5"-2Way Stereo In-Ceiling Speaker
SS6DT



この度は JBL SS シリーズ インウォール＆シーリング・スピーカーをご購入頂きまして誠にありがとうございます。
SS シリーズは、JBL のホームオーディオ用スピーカーの卓越した技術に、世界中で活躍する JBL プロフェッショナル・スピーカーシステムのテクノロジーを注ぎ込んだ高性能な埋め込み型スピーカーです。充実した低音と厚みのあるボーカル、澄み渡った高音域がライブミュージックを、ムービーを、臨場感豊かに再生します。JBL のフロントスピーカーを用いたホームシアターでのリアサラウンド用にも適したハイパフォーマンスなインウォール＆シーリング・スピーカーです。
本製品をより良く理解していただき、正しくお使いいただくために、ご使用前にこの説明書を最後までお読みください。

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社

１：　開　梱　に　あ　た　っ　て

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。万一損傷や故障が認められた場合には、直ちにお買い上げ店にご連絡ください。
各製品の梱包には、以下の製品及び付属品が納められていますのでご確認ください。

・スピーカー本体　　：１本(SSLCR, SS6DT)／２本(SS6, SS8, SS6C, SS8C)
・グリル　　：１枚(SSLCR, SS6DT)／２枚(SS6, SS8, SS6C, SS8C)
・テンプレート(マスキングボード付)　：１枚
・グリルロゴ　　：１個(SSLCR のみ)

カートンボックスに保証書が添付されていますので、内容をご確認の上、大切に保管してください。
オリジナル･カートンボックスは､緩衝材等を含め開梱後もそのままお手元に保管くださるようお勧めします｡修理などのため本体を輸送されるような場合､オリジナル･カートンボックス以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意ください。

２．保　証　に　つ　い　て

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧下さい。
過った使用に起因した故障などに伴うアフターサービスは、保証期間の有無にかかわらず有償となります。また、送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

３：　設　置　に　つ　い　て

スピーカーは、丈夫な壁面に梁や柱、鉄骨などの構造物を避けて設置します。また、壁面内の配線や配管等に影響の無い、十分なスペースを見つけて設置してください。必ず、取り付ける住居の構造に詳しい専門の業者に委託し、取り付けを行ってください。適切でない取り付けによって起こった製品および住居の損害に関して、弊社では一切責任を負いかねます。

※本製品には、磁力によるテレビ画面への影響を抑える防磁設計が施されていませんので、ブラウン管(CRT)式テレビにスピーカーが近接して設置されている場合､テレビによっては画面に色むらが生じる場合があります。このような恐れがある場合は、スピーカーをテレビから少し離れた位置に設置してください｡液晶型またはプラズマ型テレビをご使用の場合には､画面への影響はありません。また、内部回路素子がテレビから放射される高周波磁気に反応し、ノイズや歪みを発生する場合があります。このような場合にもテレビから少し距離を取って設置してください。

≪　設置場所の選定　≫

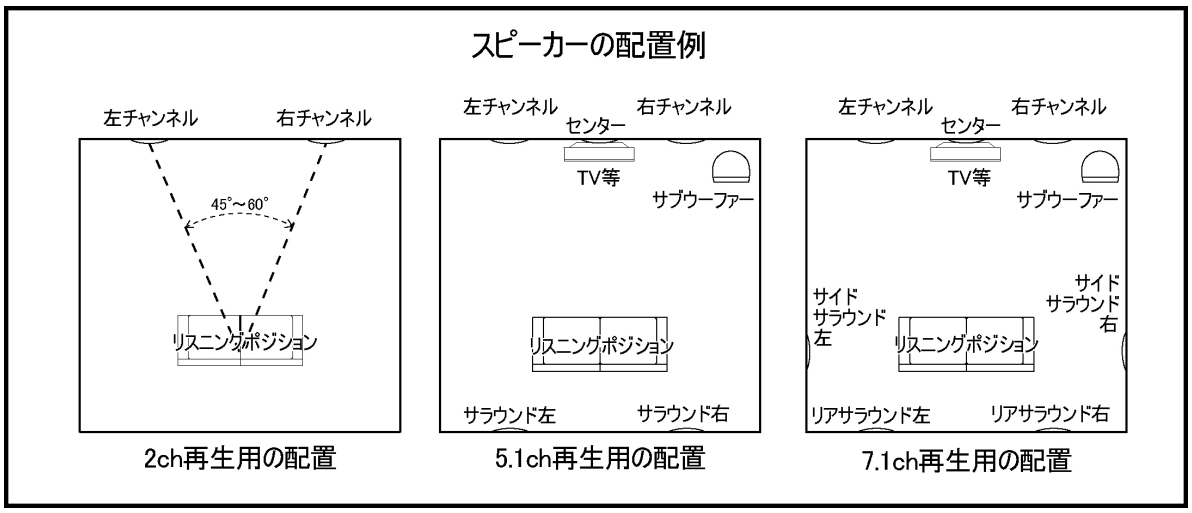
■２チャンネルステレオ再生用セッティング

ステレオ効果を最良にするために、スピーカーはリスニング位置の左右前方の壁に対称に配置してください。

●左右のスピーカー間の距離は、左右のスピーカーとリスニング位置との位置関係から生まれる角度で決まります。左右のスピーカーの間隔が広い程、広がり感のある音場が得られますが、ボーカルなど中央定位の音像が弱まります。しっかりしたセンター定位を得るため、スピーカーの間隔を45°～60°程度に確保することをお勧めします。
●音響的な影響を最小化するため､スピーカーは側面の壁から 1.2m 以上離れていることが望まれます。
●スピーカーの音像の中心は、高音用ツイーターユニットの高さにあります。ツイーターの高さがリスニング位置における耳の高さに近い位置になるよう設置するのが基本となります。

■マルチチャンネル用セッティング

SS シリーズは、高性能なマルチチャンネル再生用スピーカーとして、シリーズ各モデルの組み合わせだけでなく､他の JBL スピーカーとの組み合わせにより多様なマルチチャンネル･システム構成が可能です。
AV/マルチチャンネル用スピーカーとして用いる場合には､組み合わせる AV アンプ等の説明書に従い、使用するマルチチャンネルフォーマットに合ったスピーカー配置を行ってください。



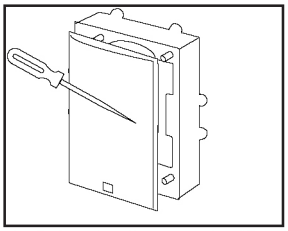
≪　壁面への取り付け　≫

取り付けには以下の道具が必要となります。

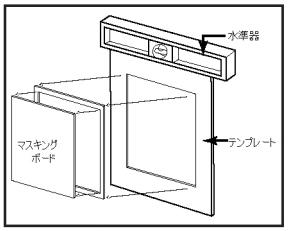
- 鉛筆（取り付け位置のマーキング用）
- ＋ドライバー
- メジャー(柱の間や天井と床間の距離が計れるもの)
- のこぎり, ナイフ, カッターなど、壁面を切り開く道具
- 水準器

■SS シリーズ取り付け手順

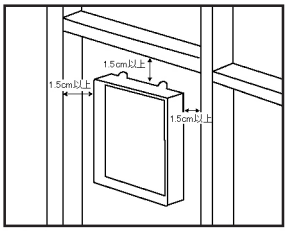
本製品のフレームの周りにはドッグイヤー式クランパーを装備しており、スピーカーを壁開口部にはめ込みネジを締めると、中でクランプが開き壁をクランプで挟み込む構造になっています。壁の中でクランプが確実に開くよう、作業の前にすべてのクランプのネジを十分に緩めておいてください。



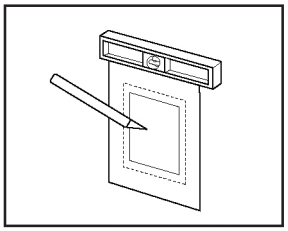
グリルにはさみ込まれた紙を引っぱり上げるようにして、グリルを取り外します。紙が抜けてグリルが外せない場合は、目打ち、針などを使ってグリルの端を少しずつ持ち上げて外してください。



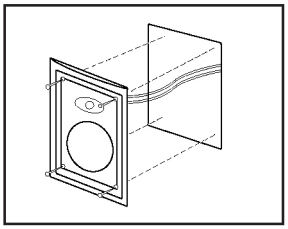
マスキングボードを切り抜いたテンプレートを壁面に水平に当て、鉛筆などを用いて取り付け穴の位置にマーキングをします。



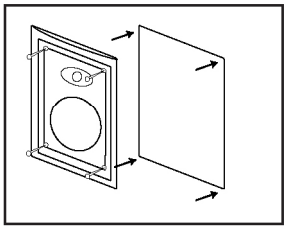
注意:
スピーカーは、壁面内部の間柱や梁などから1.5cm以上距離を離して取り付けしてください。



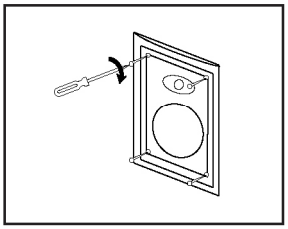
ノコギリ、カッターなどを使用して、壁にスピーカー取り付け用の穴を開けます。



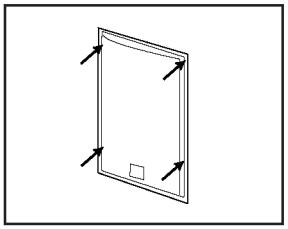
スピーカー背面の端子にスピーカーケーブルを接続します。＋/－に注意して接続してください。



壁の取り付け穴にスピーカーをはめ込みます。この時、壁面との間にケーブルをはさまないよう、十分ご注意ください。



バッフルの取り付けネジを時計方向に廻すと、壁面内部でクランパーのつめが回転して開きます。
さらにネジを締めることでつめが内側から壁をはさみ込み固定します。



グリルの外周部をバッフルの溝に入れ、端からゆっくりと押し込んでグリルを取り付けます。

注意：

・壁面内にある屋内配線やプラグなどを切らないように注意してください。

・スピーカーの取り付けに必要とされる開口部の穴のサイズは以下を参照してください：

機種：	SS6	SS8	SS6C	SS8C	SSLCR	SS6DT
横幅：	179mm	221mm	φ200mm	φ240mm	352mm	φ200mm
高さ：	243mm	297mm	―	―	156mm	―

JBL

４： 接 続 に つ い て

各スピーカーの入力端子は、本体背面のネットワーク基板上にあり、ノブに赤い端子(IN+)がプラス(＋)、黒い端子(IN-)がマイナス(－)です。良質なスピーカーケーブルを使用して、本機の入力端子と使用するアンプのスピーカー用出力端子とを接続してください。
マルチチャンネル用スピーカーとして使用する場合には、組み合わせるAVアンプの取扱い説明書に従い、それぞれのスピーカーを指示されたチャンネルのスピーカー端子へ接続してください。
接続が終了しましたら、ご使用になるAVアンプ等の説明に従いシステム設定と調整を行ってください。

●接続の際は、ケーブルの導線部分が確実に端子にはさみ付けられていることをご確認ください。ケーブルの皮膜部分を咬むと、音が出ない場合があります。また、ケーブルの導線が他の端子に触れてショートしないよう、十分ご注意ください。

５． 保 守

お手入れの際は、乾いた布で表面を掃くようにして埃を取り除いてください。汚れがひどい時は、湿らせた布などで表面を拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどを含む揮発性の薬品で拭いたり、近くで殺虫剤などを散布したりしないでください。

[注意]
スピーカーのユニット表面に埃が着いた時は、柔らかく乾いた筆や刷毛などを利用して丁寧に埃を払ってください。濡れた雑巾などは絶対に使用しないでください。

≪ フレームの塗装 ≫

お部屋の壁面との調和を図るため、本機のフレームをお好みの色に塗装することができます。きれいに仕上げるためには適切な表面処理が重要です。塗装はスプレーやローラーまたはパッドなどを用いて行います。

1. スピーカー本体を、塗装用の作業台の上に置いて下さい。
2. 付属のテンプレートから外したマスキングボードをバッフルに載せてください。
3. 軟らかい布などに消毒用アルコールなどを含ませてフレーム表面を軽く拭いてください。
4. 好みの色でフレームを塗装します。一度に厚く塗らず、薄く全体的に塗装を施し、これを何度か繰り返すことで希望する色に仕上げてください。

６： 仕 様

モデル名	SS6	SS8	SS6C	SS8C	SSLCR	SS6DT
形式	165mm径 2ｳｪｲ ｲﾝｳｫｰﾙ型	200mm径 2ｳｪｲ ｲﾝｳｫｰﾙ型	165mm径 同軸2ｳｪｲ ｼｰﾘﾝｸﾞﾏｳﾝﾄ型	200mm径 同軸2ｳｪｲ ｼｰﾘﾝｸﾞﾏｳﾝﾄ型	125mm径×2 2ｳｪｲ・ｲﾝｳｫｰﾙ型 ﾊﾞｰﾁｶﾙ/ﾎﾘｿﾞﾝﾀﾙｽﾋﾟｰｶｰ	165mm径 ｼｰﾘﾝｸﾞﾏｳﾝﾄ型 3Dｽﾃﾚｵｽﾋﾟｰｶｰ
インピーダンス	8Ω	8Ω	8Ω	8Ω	8Ω	8Ω
許容入力	100W（RMS）	120W（RMS）	100W（RMS）	120W（RMS）	120W(RMS)	120W（RMS）
出力音圧レベル（2.83V/1m）	88dB	90dB	88dB	90dB	88dB	89dB
周波数特性（-10dB）	38Hz～20kHz	30Hz～20kHz	40Hz～20kHz	32Hz～20kHz	40Hz～20kHz	40Hz～20kHz
クロスオーバー周波数	2.8kHz	2.0kHz	2.4kHz	2.2kHz	2.6kHz	2.9kHz
寸法（幅×高さ×奥行き）	216×280×107mm	259×333×107mm	φ235×110mm	φ275×112mm	390×194×84mm	φ235×115mm
埋め込み寸法（幅×高さ×奥行き）	179×243×100mm	221×297×100mm	φ200×103mm	φ240×105mm	352×156×77mm	φ200×108mm
適合板厚	15～35mm					
重量	2.0kg	2.5kg	1.9kg	2.1kg	2.6kg	1.9kg

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社
製品に関するお問い合わせは、弊社マーケティング部 ☎03-3836-5660 まで

東京ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ ：〒135-0033 東京都江東区深川1-6-29 結城運輸倉庫(株)内 ☎ 03 (5639)3011
本社営業部 ：〒110-0005 東京都台東区上野5-7-7 公徳堂ビル ☎ 03 (3836)5641
大阪営業所 ：〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-12-15 双葉ビル602号 ☎ 06 (6301)1396
福岡営業所 ：〒816-0844 福岡県春日市上白水4-40 ☎ 092(573)2023

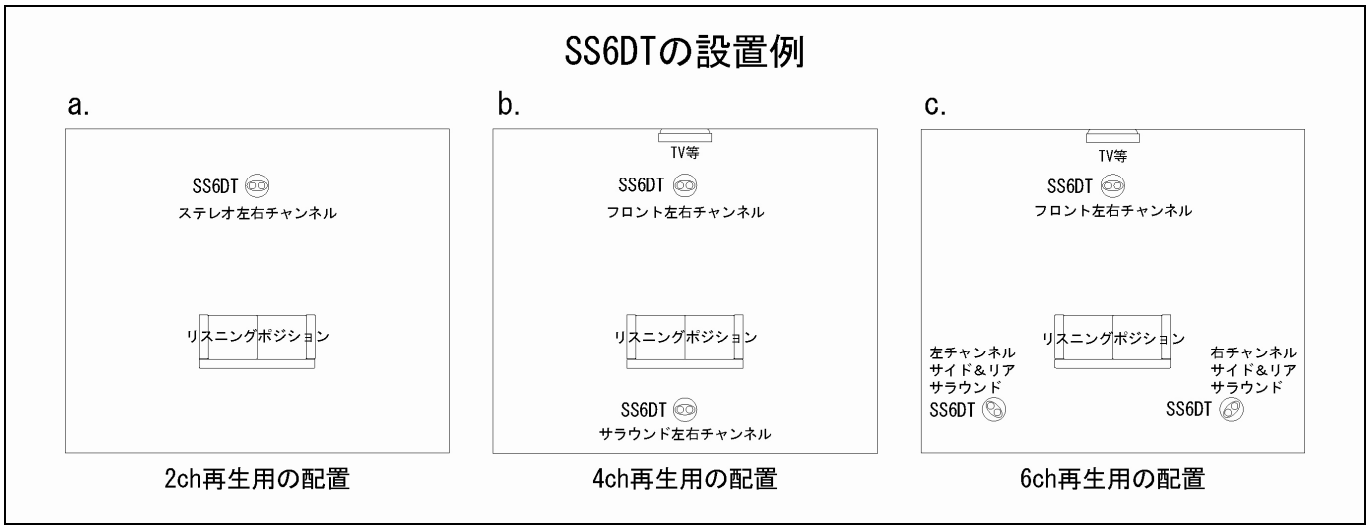
MKT 2K8.11.13

SS6DT の設置、接続

「SS6DT」は１本で３Ｄステレオ再生が可能なデュアルツィーターを持つ構造になっています。下記をご参照頂き、設置及び接続を行って下さい。

⚠注意　SS6DT はステレオ(2ch)再生用に設計されているため、1ch のみでの使用はできません。

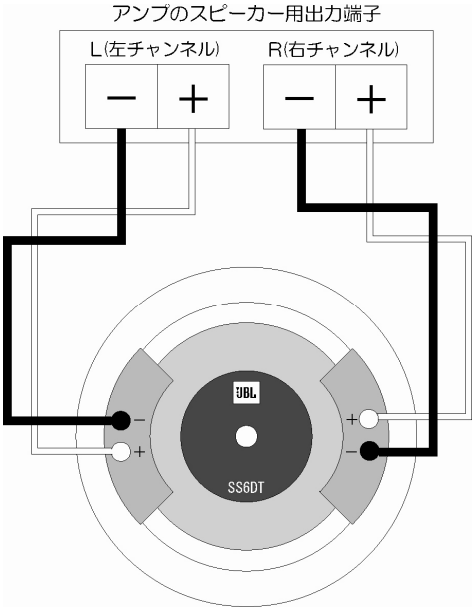
■設置例



■接続方法

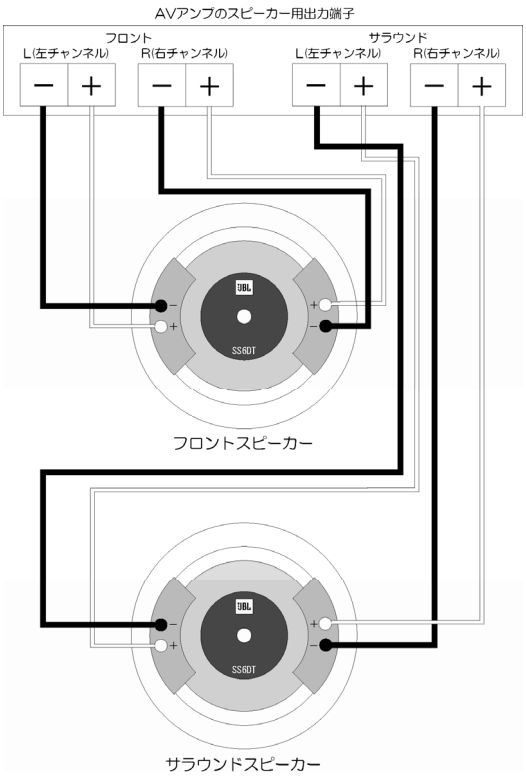
a. 2ch で使用する場合の接続

アンプの左チャンネルは左のスピーカー端子と接続し、右のチャンネルは右のスピーカー端子に接続して下さい。



b. 4ch で使用する場合の接続

フロントスピーカーは AV アンプのフロント左チャンネルを左のスピーカー端子と接続し、フロント右のチャンネルを右のスピーカー端子に接続して下さい。
これと同様に、サラウンドスピーカーは AV アンプのサラウンド左チャンネルを左のスピーカー端子と接続し、サラウンド右のチャンネルを右のスピーカー端子に接続して下さい。



c. 6ch で使用する場合の接続

フロントスピーカーは AV アンプのフロント左チャンネルを左のスピーカー端子と接続し、フロント右のチャンネルを右のスピーカー端子に接続してください。
L（レフト）サラウンドサイド＆リアスピーカーの接続は、AV アンプのサラウンド・サイド左チャンネルを左のスピーカー端子に、サラウンド・リア左チャンネルを右のスピーカー端子に接続してください。
同様に、R（ライト）サラウンド＆リアスピーカーの接続は、AV アンプのサラウンド・サイド右チャンネルを右スピーカー端子に、サラウンド・リア右チャンネルを左のスピーカー端子に接続してください。